

第41号では、世界早産児デーのご紹介をいたします。



「世界早産児デー」について

毎年11月17日は「世界早産児デー」です。この日は、予定より早く生まれた赤ちゃん(早産児)とそのご家族が抱えるさまざまな課題に目を向け、理解と支援の輪を広げるための国際的な記念日です。

「ソックスライン」というイラストも象徴的です。10足の赤ちゃんの靴下のうち1足が紫色になっていて、「世界中で10人に1人の赤ちゃんが早産で生まれている」ということをキービジュアルとして伝えています。

担当：新生児集中ケア認定看護師
星 恵美子 長澤 朋子



「日本での取り組み」



長野県：松本城



神奈川県：神奈川県庁



東京都：都庁

多くの医療施設や自治体が参加し、病院や公共施設がシンボルカラーの紫色にライトアップされるなどさまざまな工夫でこの日を盛り上げています。医療関係者だけでなく一般の方々にも広く情報を届け、世界早産児デーに関心を持っていただくことで、理解と支援の輪がさらに広がることを目指しています。

当院では宮城リトルベビーサークルの活動をされているお母様の提案で、当院NICU卒業の児とお母様方から提供いただいたお写真と出産・NICU入院時の思いを綴った手記の写真展を開催しました。



来年以降の世界早産児デーに向けて、当院でもイベント開催を企画したい！と考えています。